

# 貧酸素水塊速報 (2014年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議  
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会  
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局  
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成26年9月1日観測結果

8月27日に湾奥(市川航路～幕張地先, 千葉港内)で青潮が発生したことにより、貧酸素水塊の分布範囲及び規模は小さくなりました(図1, 2, 3)。しかし、湾奥の一部では青潮が継続し、また、底層にはまだ1mL/L以下と強く貧酸素化している水塊が見られますので、引き続き注意が必要です。

(青潮に関しては千葉県水質保全課の情報を引用しています)

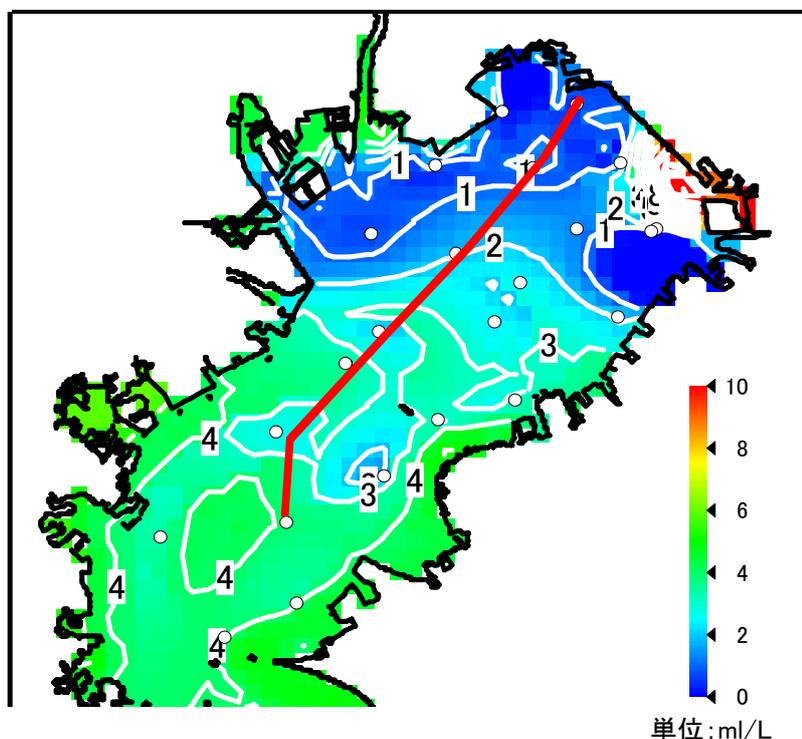


図1 底層の溶存酸素量分布 (赤線は縦断ライン)

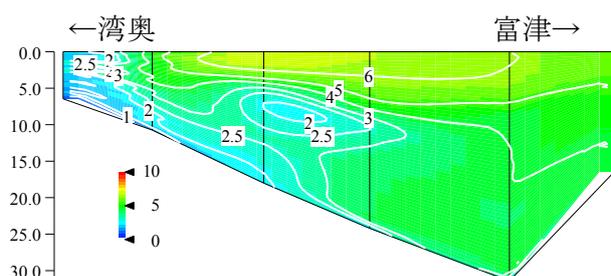


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

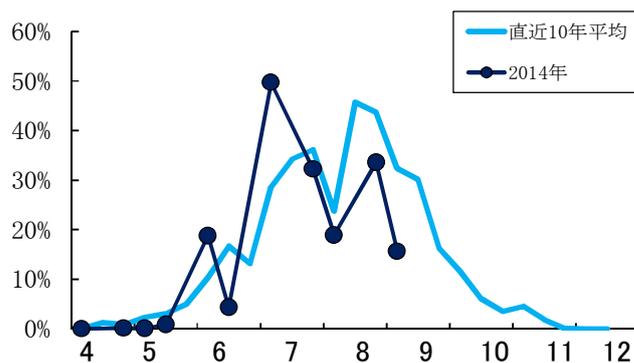


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)